

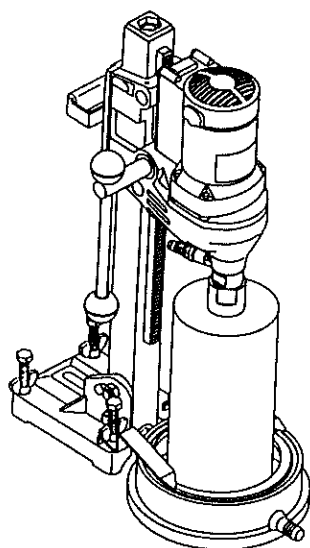


ダイヤコアドリル

モデルDM120

モデルDM170

* 取扱説明書 *



このたびは**マキタダイヤコアドリル**をお買上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分にご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願い致します。

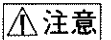
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

●主要機能

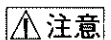
型 式	DM120	DM170
電 動 機	直巻整流子電動機	
電 圧	単相100ボルト	
電 流	11アンペア	14アンペア
周 波 数	50-60ヘルツ	
消 費 電 力	1,050ワット	1,330ワット
回 転 数	毎分900回転	毎分950回転
最 大 開 孔 径	120mm	170mm
全 高	575mm	615mm
ベ ー ス 寸 法	167×130mm	145×210mm
有効ストローク	315mm (レジューサー使用時 255mm)	320mm (レジューサー使用時 260mm)
ビット取付ネジ	M27 (レジューサー使用時M18)	
質 量	9.0kg	14.5kg

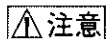
改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 と 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

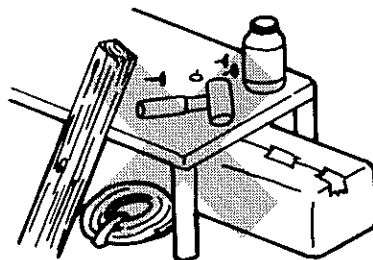
安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

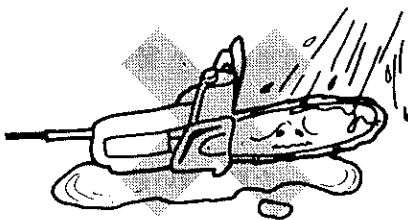
2. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



⚠ 警 告

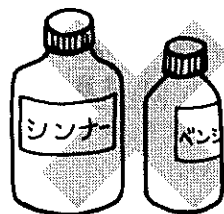
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- ・作業場は十分に明るくしてください。
可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。



4. 子供を近づけないでください。

- ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。



5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または、鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ・安全に能率よく作業する為に、電動工具の能力に合った早さで作業してください。

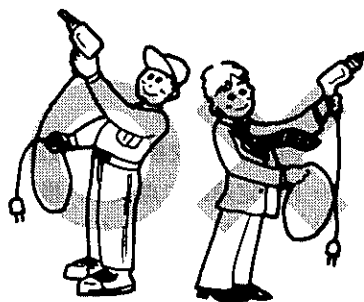
7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には、使用しないでください。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。

⚠ 警 告

8. きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部分に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。



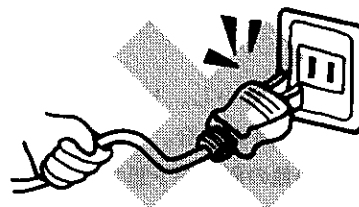
9. 保護めがねを使用してください。

- ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防塵マスクを併用してください。



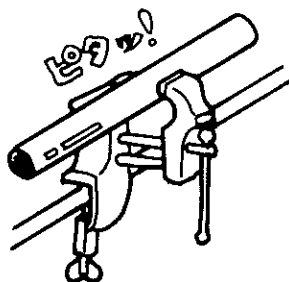
10. コードを乱暴に扱わないでください。

- ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



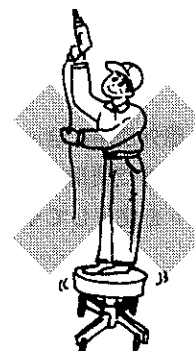
11. 加工する物をしっかりと固定してください。

- ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
- ・手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



12. 無理な姿勢で作業しないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



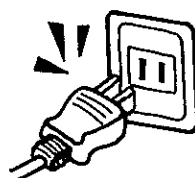
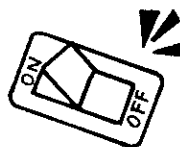
⚠ 警 告

13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合には、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・使用しない、または、修理をする場合。
- ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
- ・その他の危険が予想される場合。



15. 調節キーやレンチ等は、必ず取りはずしてください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。

16. 不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたは、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警 告

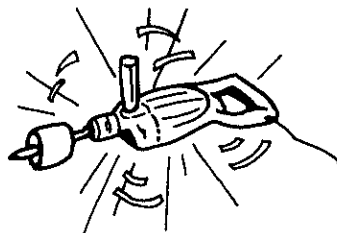
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。



19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

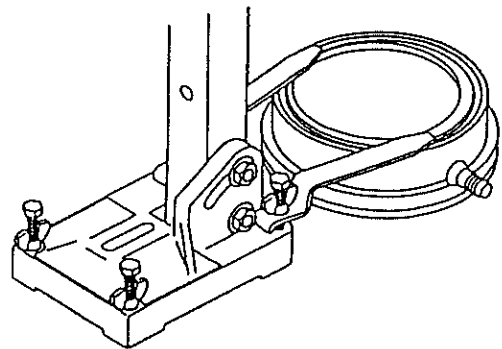
- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

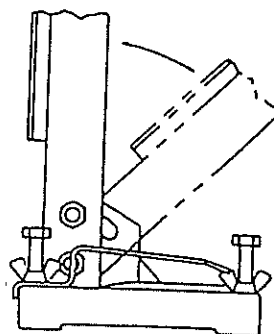
●ダイヤコアドリルご使用上の注意

- 作業中、ダイヤコアビットが内部配線やガス管などに触れますと感電やガス漏れにつながり非常に危険です。埋設物を事前に調査し、細心の注意を払って作業してください。
- ダイヤコアビットは正しく確実に取り付けてください。
また、亀裂があるもの、変形したもの、指定以外のビットは使用しないでください。
- 作業中に機械が動いたりしないように、必ずアンカー・真空パッドなどを使用して確実にベースを固定してください。
- ダイヤコアビットを過熱するとチップ飛びやチップ割れの原因となり、開孔能力も低下します。
必ず給水をおこなってください。
- 無理に力を加えますと開孔能力が低下します。またモーターの焼損原因にもなりますのでご注意ください。
- 排水が回りに飛び散るのを防ぐ場合は、付属の水パッドアセンブリ（ビット径130mmまで使用可）をご使用ください。



●ダイヤコアドリルご使用上の注意

- 機械をご使用の際には、クランプケース本体の側面の調整ボルトで、確実に調整をおこなってください。
- 使用するダイヤコアビットがM18の場合は、特別付属品（別販売）のレジューサーをご使用ください。
- 切断角度が90°～45°に調整できます。
目的にあった角度で開孔してください。

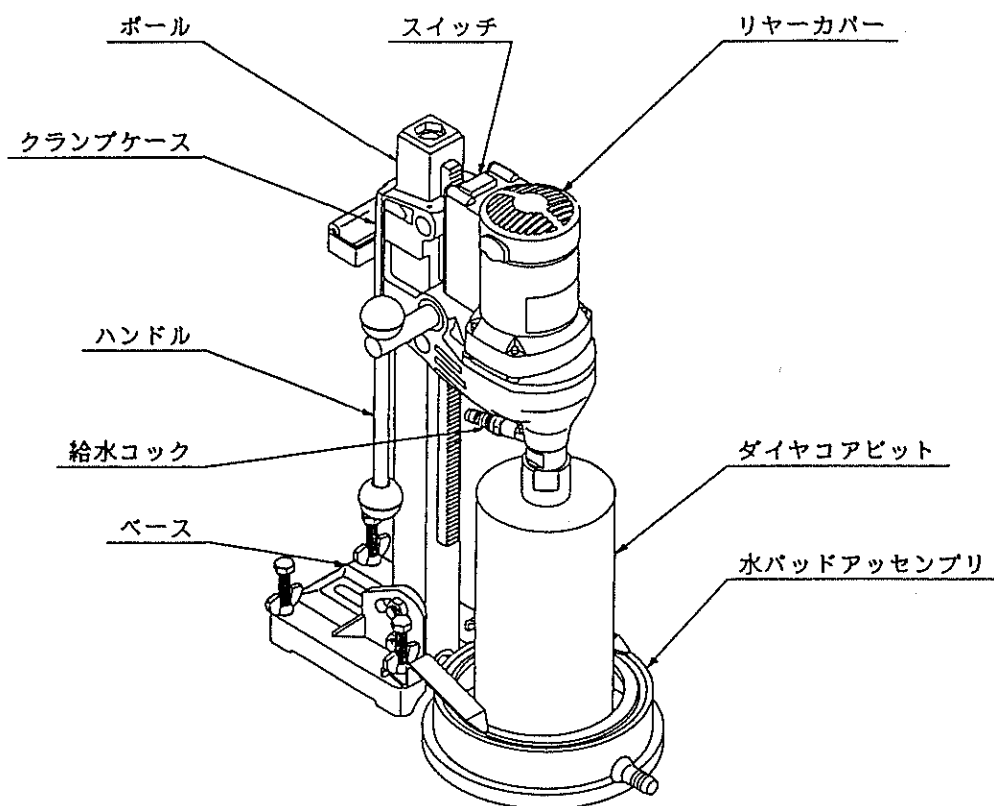


- 電源が離れていてつなぎコードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

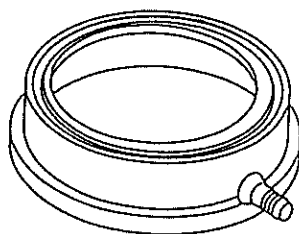
コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.00mm ²	20m

●各部の名称および通常付属品



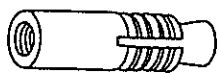
*通常付属品

- ・水パッドアッセンブリ ————— 1
 - ・工具袋 ————— 1
- (ビット径130mmまで使用可)

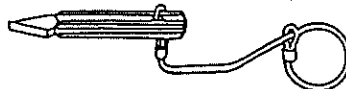


●通常付属品 DM120用

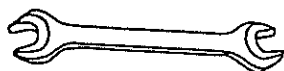
・アンカー M10 ————— 3



・エボシタガネ仕組品 ————— 1

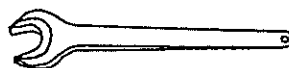


・両口スパナ 17×13 ————— 1



・片口スパナ 27 ————— 1

36 ————— 1



・六角棒レンチ 2.5、4、5 ————— 各1



・スタットボルト M10×140 ————— 1



・ナット M10 ————— 1

M16 ————— 1

(M16の使用方法是15ページ参照)



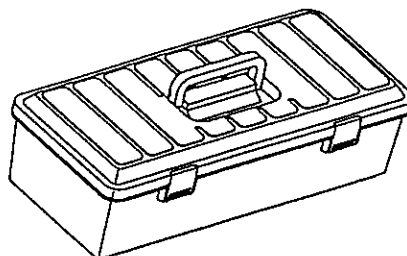
・角ワッシャ 32×32×2.3 ————— 1



・ジョブラー継手B ————— 1



・キャリングケース ————— 1



●通常付属品 DM170用

・アンカー M10 ————— 3



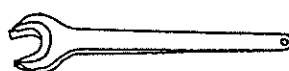
・エボシタガネ仕組品 ————— 1



・両口スパナ 17×13 ————— 1



・片口スパナ 36 ————— 2



・六角棒レンチ 2.5、4、5、6 ———— 各1



・スタットボルト M10×140 ————— 1



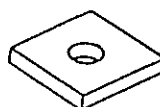
・ナット M10 ————— 2

M16 ————— 1

(M16の使用方法は15ページ参照)

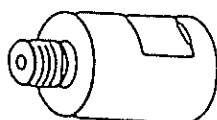


・角ワッシャ 32×32×2.3 ————— 1

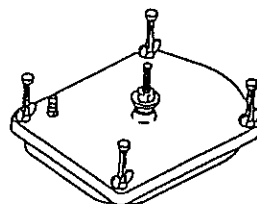


●特別付属品（別販売）

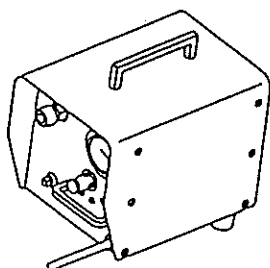
・ レジューサー M27×M18



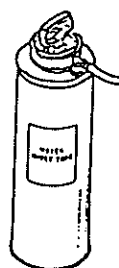
・ 真空パッド



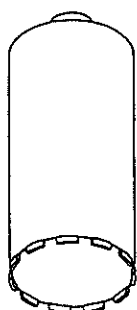
・ 真空ポンプ



・ 水タンク (13ℓ)



・ ダイヤモンドコアビット（薄刃1体型）



穴あけ能力 外径×深さ (mm)	部品番号	DM	穴あけ能力 外径×深さ (mm)	部品番号	DM
φ 29×250	A-11645	120/170	φ 90×250	A-11726	120/170
φ 32×250	A-11651	120/170	φ 100×250	A-11732	120/170
φ 40×250	A-11667	120/170	φ 106×250	A-11748	120/170
φ 52×250	A-11673	120/170	φ 110×250	A-11754	120/170
φ 65×250	A-11689	120/170	φ 120×250	A-11760	120/170
φ 70×250	A-11695	120/170	φ 130×250	A-11776	170
φ 75×250	A-11704	120/170	φ 150×250	A-11782	170
φ 80×250	A-11710	120/170	φ 170×250	A-11798	170

・ 延長バー（全長235mm、有効長200mm、太さφ35mm）

穴径φ52mm以上、深さ250mm以上の穴あけ時にご使用ください。（継ぎ足し使用可能）

●機械の固定方法（アンカー固定式）

- ①ハンマードリルで開孔穴の中心から195～235mm（DM120）・235～275mm（DM170）の位置に、アンカー用の穴をあけてください。

アンカー種類	下穴径	下穴深さ
M10	14.5mm	50mm
M12	18.0mm	60mm
3/8"	14.5mm	50mm
1/2"	18.0mm	60mm

ご注意

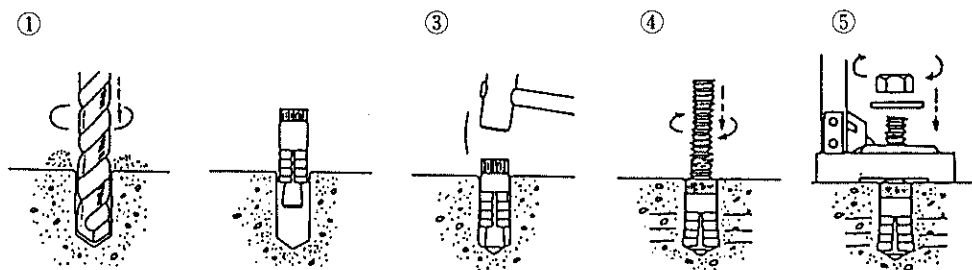
アンカーは表中サイズのアンカーをご使用ください。

- ②スポイトなどを使用して、穴の中の切削粉をきれいに掃除してください。

ご注意

切削粉が残っていると、アンカーが抜けてくる場合があります。

- ③アンカーをアンカーのネジ山がつぶれないように注意して打ち込んでください。
 ④アンカーに付属のスタットボルトをねじ込んでください。
 ⑤ベース中央の長穴部をスタットボルトに差し込み、付属の角ワッシャを入れ、付属のナット（M10）で軽く締め付けてください。
 ⑥ベースの四隅のボルトで水平、垂直を調整してください。
 ⑦スタットボルトにネジ込んだナットをしっかりと締め付けてください。



●機械の固定方式（真空吸着式）（真空ポンプ、真空パッドは別販売）

- ・吸着付近を清掃し、吸着を妨げるものを取り除いてください。

ご注意

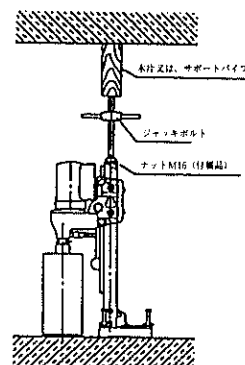
吸着面が凸凹していると、吸着しない場合があります。

- ・真空ポンプに電源を入れ、真空ホースで真空ポンプと真空パッドを接続してください。
- ・真空パッドの中央部のスタットボルトから開孔穴中心までを195～235mm（DM120）・235～275mm（DM170）になるように真空パッドをセットしてください。
- ・真空パッドが吸着したら、ベース中央部の長穴を真空パッドのスタットボルトに差し込み、真空パッドに付属している丸ワッシャとナット（M12）でしっかりと締め付けてください。
- ・真空ポンプの真空度を確認の上開孔を開始してください。

●機械の固定方式（ジャッキボルト式）

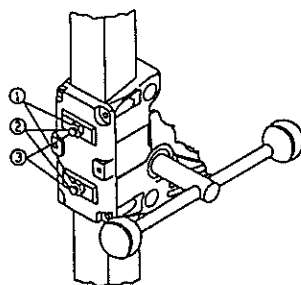
（ジャッキボルト、サポートパイプは市販品）

- ・アンカー、真空パッドなどが使用できない場合にジャッキボルトを使用して機械を固定します。
- ・開孔部分に機械をセットし、ポール先端の凹み部分に付属のナット（M16）をさしこんで、そのナットにジャッキボルトのネジ部をネジ込みます。
- ・開孔部分と向かい合う壁面に木片又はサポートパイプをセットし、木片又はサポートパイプ先端にジャッキボルトのもう一つのネジ部を押し付けます。
- ・ジャッキボルトのハンドルを回し、機械を固定します。
- ・機械がしっかり固定したことを確認の上、開孔を開始してください。

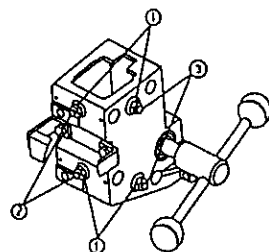


●クランプ部分の調整方法

- ・ボールにギヤーケースを差し込んだまま、①ロックナット（M 8）、②スクリュー（M 8 × 20）および、③調整板をゆるめます。
- ・ギヤーケースを上下に動かしながら調整板を締め付けてください。



DM120



DM170

ご注意

調整板を強く締めすぎますとギヤーケースの移動が重くなり、締め付けが足りないとビットのズレがでます。

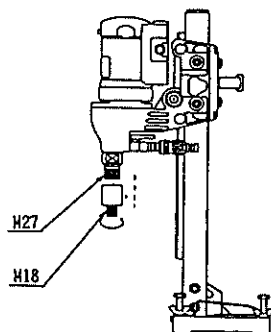
- ・スクリュー（M 8 × 20）を締め付けます。
- ・ギヤーケースの移動がスムーズでしたら、ロックナット（M 8）を締め付けて調整板とスクリューを固定してください。

●レジューサー（特別付属品）の取り付け方

ご注意

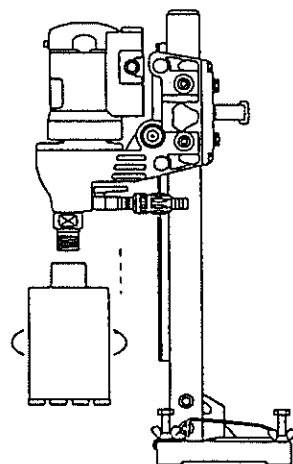
ダイヤコアビットやレジューサーの取り付け、取り外しの際は必ずプラグを電源から抜いてください。

- ・レジューサーをモーターの先端の出力軸（スピンドル）にネジ込んでください。

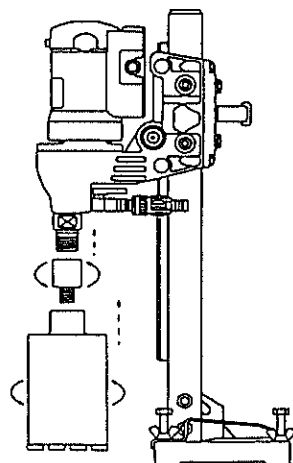


●ダイヤモンドビットの取り付け方

- ・ダイヤモンドビットのネジ部がM27の場合は、モーターの先端の出力軸（スピンドル）に直接ネジ込んでください。



- ・ダイヤモンドビットのネジ部がM18の場合は、特別付属品（別販売）のレジューサー先端の出力軸（スピンドル）にネジ込み、その後ダイヤモンドビットをレジューサーにネジ込んでください。



ご注意

ダイヤモンドビットなどをネジ込む場合は、ねじ部にグリスを塗っておくとサビ付きを防止し、刃物の着脱を容易にします。

●穴あけ方法

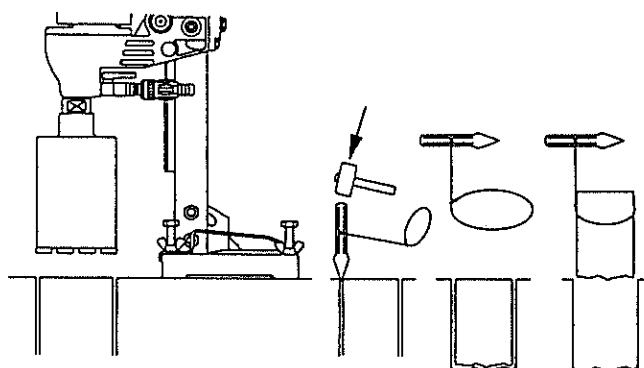
- ・ダイヤモンドドリル本体が確実に固定されていることを確認してください。
- ・ギヤケースの上下動調整が確実におこなわれているか確認してください。
- ・モーターの先端の出力軸（スピンドル）にダイヤモンドビットを取り付けてください。
- ・ダイヤモンドドリル本体のハンドルを回し、被削材にダイヤモンドビットを近づけてください。
- ・給水コックに水道または給水タンクからホースをつないで水を供給してください。
- ・モーターのスイッチを入れてください。
- ・ハンドルを回し、開孔を開始します。
- ・開孔終了後は、ただちにハンドルを回してダイヤモンドビットを引き抜いてください。
- ・ダイヤモンドビットを引き抜いたらスイッチを切り、給水を停止してください。

ご注意

切りはじめはダイヤモンドビットを被削材に強くあてないようにハンドルで調整してください。強くあてますとダイヤモンドビットがぶれたり、破損（チップ飛び）する場合があります。

●コア引き抜き方法

- ・開孔終了後コアを取り除く場合は、付属のエボタガネ仕組品を使用して取り除いてください。



●保護機能

- ・本機には過負荷運転によるモーター焼損防止のため、スイッチ兼用のサーキットプロテクターが内蔵されています。
- ・サーキットプロテクターが作動しモーターが停止しても、再度スイッチをONにすればモーターが回り使用できます。

ご注意

サーキットプロテクターが頻繁に働く場合は、負荷がかかりすぎています。ハンドルで調整しながら切り込んでください。

- ・モーターに急激に衝撃がかかった場合、ギヤ保護のためにクラッチがはたらきます。クラッチが働いた場合は、モーターは回転してもダイヤモンドビットは回転しません。ハンドルを回す力をゆるめてください。

ご注意

クラッチが頻繁にスべるようになったらクラッチの締め付けが必要です。

●保守・点検について

ご注意

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

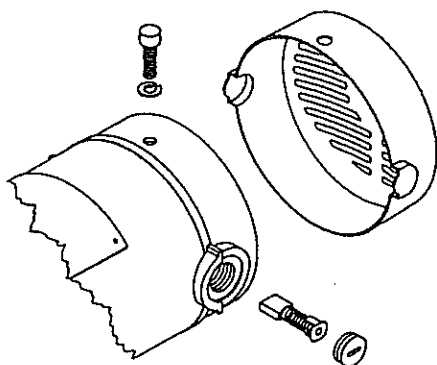
●カーボンブラシの交換

- ・カーボンブラシが磨耗して機械が停止したら、カーボンブラシを新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダー内でスムーズに動くか確認してください。

- ・リヤカバーを固定している六角穴付ボルトを六角棒スパナでゆるめ取りはずし、リヤカバーを取りはずします。

- ・次に、ネジ回しで機械のモーターケース部に組み付けてある左右のブラシホルダーキャップを組み付けてください。

カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず同時に行ってください。



●グリースの交換

- ・本機はグリースパック方式を採用し、ギヤケース内にグリースを密封しています。そのためグリースを常時補給する必要はありませんが、グリース交換はカーボンブラシ交換のときに行ってください。

グリースの交換は、お買い求めのマキタ電動工具登録販売店またはマキタ直営事業所にお申しつけください。

●ご修理の際は

- ・修理はご自分でなさらないで必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店、またはマキタ直営事業所にお申しつけください。

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号	事業所名	電話番号	事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141	足立営業所	〈03〉(3899) 5855	東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
札幌営業所	〈011〉(783) 8141	大田営業所	〈03〉(3763) 7553	関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960	江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171	南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849	多摩営業所	〈042〉(384) 8411	奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
函館営業所	〈0138〉(49) 9273	立川営業所	〈042〉(542) 1201	橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100	横浜支店	〈045〉(472) 4711	和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833	横浜営業所	〈045〉(472) 4711	田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
北見営業所	〈0157〉(26) 9011	川崎営業所	〈044〉(811) 6167	沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
仙台支店	〈022〉(284) 3201	平塚営業所	〈0463〉(54) 3914	兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
仙台営業所	〈022〉(284) 3201	相模原営業所	〈042〉(757) 2501	三木営業所	〈0794〉(82) 7411
古川営業所	〈0229〉(24) 0698	湘南営業所	〈0466〉(87) 4001	尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
青森営業所	〈017〉(764) 4466	静岡支店	〈054〉(281) 1555	神戸営業所	〈078〉(672) 6121
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321	静岡営業所	〈054〉(281) 1555	姫路営業所	〈0792〉(81) 0204
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221	沼津営業所	〈055〉(923) 7811	広島支店	〈082〉(293) 2231
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101	浜松営業所	〈053〉(464) 3016	広島営業所	〈082〉(293) 2231
郡山営業所	〈024〉(932) 0218	甲府営業所	〈055〉(276) 7212	福山営業所	〈084〉(923) 0960
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061	金沢支店	〈076〉(249) 5701	三原営業所	〈0848〉(64) 4850
新潟支店	〈025〉(247) 5356	金沢営業所	〈076〉(249) 5701	岡山営業所	〈086〉(243) 4723
新潟営業所	〈025〉(247) 5356	七尾営業所	〈0767〉(52) 3533	宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530	富山営業所	〈076〉(451) 6260	徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
山形営業所	〈023〉(643) 5225	高岡営業所	〈0766〉(21) 3177	鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551	福井営業所	〈0776〉(35) 1911	松江営業所	〈0852〉(21) 0538
秋田営業所	〈018〉(863) 5205	岐阜支店	〈058〉(274) 1315	高松支店	〈087〉(841) 2201
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295	岐阜営業所	〈058〉(274) 1315	高松営業所	〈087〉(841) 2201
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295	多治見営業所	〈0572〉(22) 4921	徳島営業所	〈088〉(626) 0555
小山営業所	〈0285〉(25) 5559	松本営業所	〈0263〉(25) 4696	松山営業所	〈089〉(951) 7666
水戸営業所	〈029〉(248) 2033	長野営業所	〈026〉(225) 1022	宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
土浦営業所	〈029〉(821) 6086	上田営業所	〈0268〉(22) 6362	高知営業所	〈088〉(884) 7811
関東物流センター	〈048〉(771) 3451	飯田営業所	〈0265〉(24) 1636	福岡支店	〈092〉(411) 9201
埼玉支店	〈048〉(771) 3462	名古屋支店	〈052〉(571) 6451	福岡営業所	〈092〉(411) 9201
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801	名古屋営業所	〈052〉(571) 6451	北九州営業所	〈093〉(551) 3481
川越営業所	〈049〉(222) 2512	一宮営業所	〈0586〉(75) 5382	飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647	東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072	久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
越谷営業所	〈0489〉(76) 6155	知多営業所	〈0569〉(48) 8470	佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
前橋営業所	〈027〉(232) 5575	岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443	長崎営業所	〈095〉(882) 6112
高崎営業所	〈027〉(365) 3688	豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117	佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661	四日市営業所	〈0593〉(51) 0727	熊本支店	〈096〉(389) 4300
千葉支店	〈043〉(231) 5521	津営業所	〈059〉(232) 2446	熊本営業所	〈096〉(389) 4300
千葉営業所	〈043〉(231) 5521	伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210	八代営業所	〈0965〉(43) 1000
市川営業所	〈047〉(328) 1554	京都支店	〈075〉(621) 1135	大分営業所	〈097〉(567) 3320
成田営業所	〈0478〉(73) 8101	京都営業所	〈075〉(621) 1135	宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908	福知山営業所	〈0773〉(23) 7733	鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
柏営業所	〈04〉(7175) 0411	大津営業所	〈077〉(545) 5594	沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
東京支店	〈03〉(3816) 1141	彦根営業所	〈0749〉(22) 6184		
東京営業所	〈03〉(3816) 1141	大阪支店	〈06〉(6351) 8771		
中野営業所	〈03〉(3337) 8431	大阪営業所	〈06〉(6351) 8771		

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)